

# 『大会発表論文集』(Proceedings) 執筆規定

## 第 25 回『大会発表論文集』(Proceedings) (第 18 号)

日本語用論学会では、2005 年度より、毎年の大会で発表された論文をとりまとめ、大会後に、『大会発表論文集』を発行しています。つきましては、大会の「研究発表」「シンポジウム」にて発表されました皆様は、以下の要領で原稿をご提出くださいますようお願いいたします(投稿を希望されない方は提出不要です)。

※投稿に際しては、以下の執筆規定を厳守するようお願いいたします。

※不備がある場合は掲載されないことがあります。

### 1. 執筆規定

#### 1. 用紙・ページ数：

A4 用紙、横書き(段組みは 1 段)。「研究発表」は 8 ページ以内、「シンポジウム」は当該シンポジウム内の発表 1 件につき 6 ページ以内(注：要旨、参照文献を含む)。  
上記ページ数の範囲内であれば字数は自由。

#### 2. 書式：

a. 余白は上下 30mm、左右 25mm とする。すべて横書きとし、日本語の場合は 10.5

ポイントで 1 行 38 文字、1 ページ 32 行、英語の場合は 12 ポイントで 1 ページ 32 行とする。日本語のフォントは MS 明朝ないしは游明朝、英語のフォントは century ないしは Times New Roman を推奨する。

b. 原稿の1ページ目には、タイトル（中央揃え）、氏名（右揃え）、所属（E-mailアドレスは任意）（右揃え）を記し、そのあと**2行空けて要旨**、1行空けてキーワード、2行空けて本文を続ける。（次頁の「原稿のイメージ」を参照）

\* 共著論文の場合は、**著者ごとに**「氏名（所属）」の様式にて右揃えで記す。

c. 「はじめに」または「序論」の節は「0.」からではなく、「1.」から始めること。

d. 例文の前後は1行、各節の前は1行空ける。

e. 原稿のヘッダーやフッターには、何も記載しないこと。

f. 注を付ける場合は巻末とし、本文と参考文献の間にまとめて入れる。

g. 参考文献のフォーマットは『語用論研究』の投稿規定・スタイルシートに従うこと。

（本学会のホームページ [https://pragmatics.gr.jp/journal/contribution\\_rule.html](https://pragmatics.gr.jp/journal/contribution_rule.html) 参照）。

<特にご留意いただきたいこと>

(1) 英語の文献と日本語の文献を**混在させて**、**アルファベット順**に並べる。

(2) 英語の文献名は、**内容語の語頭は大文字**、**機能語の語頭は小文字**とする。

### 3. 要旨：

a. 要旨は（日本語での論文も含め）全て**英語**によるものとし、約100語で書く。

b. 要旨の前には<Abstract>と記し、行頭をインデントしないこと。

（次頁の「原稿のイメージ」を参照）

### 4. キーワード：

a. 要旨の下に **1行空けて** 以下のように記す（5個以内）。

【キーワード】：○○・△△・□□・◇◇・▽▽

b. キーワードと本文との間は **2行空ける**。

原稿のイメージ（1ページ目）

The diagram shows a rectangular box representing a manuscript page. At the top center is the text "タイトル" (Title). To the right of the title, the author's name "氏名" and affiliation "所属" are listed. Below the title and author information is the text "<Abstract> . . . . .", followed by a line of dots. Below the abstract is the keyword line "【キーワード】：○○・△△・□□・◇◇・▽▽". At the bottom center of the box is the text "本文" (Main Text).

<共著の場合>  
氏名1（所属）  
氏名2（所属）

## 2. その他の注意事項

a. 内容は、大会発表に沿ったものとする（タイトルの変更は不可だが、内容について、

発表時のコメントをふまえて修正を加えることは妨げない。）

b. 使用言語は、発表言語に合わせること。

c. 本『大会発表論文集』に掲載した内容は、さらに発展させて、『語用論研究』に投稿

することができる。その場合は、必ず十分な加筆・修正を施すこと。

## 3. 原稿の提出方法

- a. 「原稿ファイル」を、本学会のホームページにある「会員専用ページ（マイページ）」の発表論文投稿画面（2023年2月にオープン予定）にて **PDF** ファイルで投稿する。但し、シンポジウムの場合は、代表者が全員分を取りまとめて投稿のこと。
- b. 投稿者の連絡先などの個人情報については、投稿ページの画面に記載された指示に従い、入力すること。

#### **4. 原稿の提出期限**

2023年3月31日（金）23:59（日本時間）（この時刻までに投稿を完了すること）

\*上記の締切日時を過ぎると投稿ページが閉鎖され、投稿できなくなります。その時点で未提出のものは投稿を希望されないと判断しますので、ご了承ください。

#### **【問い合わせ先】**

日本語用論学会 大会総務委員会 発表論文集（プロシーディングズ）担当 村田 和代

proceedings@pragmatics.gr.jp

\* 投稿に関するお問い合わせは、2023年3月24日（金）までお願いいたします。